



ANNUAL REPORT

無料ウェビナー 年次報告会

2021

移動映画館 再始動に向けて

2022.7.3 **SUN** 11:00~12:00

**World Theater Project**

- (1) コロナ禍での私たちの想い
- (2) パワーアッププロジェクトについて
  - ①よりたくさんのお映画を届けよう
  - ②映画配達の高さを高めよう
  - ③より多くの人に知ってもらおう
- (3) 決算・予算報告
- (4) 配達人との対話（カンボジアより）
- (5) ウクライナプロジェクト報告
- (6) 代表挨拶



# 移動映画館休業

新型コロナウイルスの影響を鑑みて、団体一同で2022年9月まで  
途上国現地の移動映画館を休業することを決定いたしました。

## ◇移動映画館 休業中の動き

2022年9月の移動映画館再開に向けての1年半で、何をすべきなのか、何ができるのかを考え続けた一年。

2021年1月

移動映画館休業 発表

2021年4月

ビジョンの対話

2021年9月

パワーアップ  
プロジェクト始動

2022年9月

移動映画館 再開予定

私たちWTPが目指す世界はどのようなものなのか、  
どのような目的で活動するべきなのかを考え、対話。  
一つひとつの言葉にどのような想いを込めているのかなどについても議論。

生まれ育った環境に関係なく子ども達が夢を持ち、  
人生を切り拓ける世界をつくる

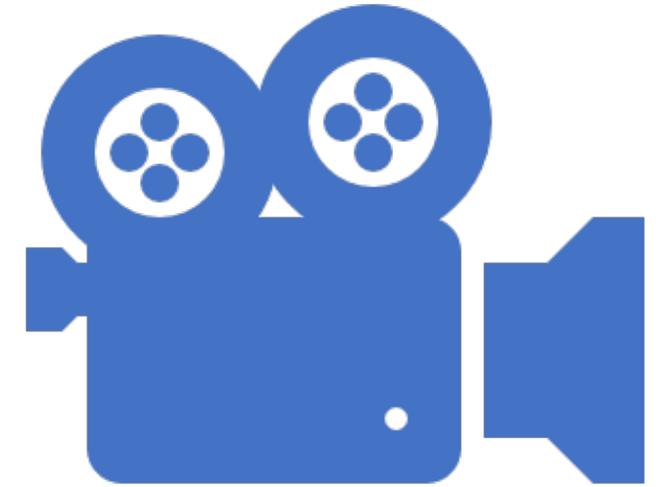


生まれ育った環境に関係なく子ども達が**夢を描き**、  
人生を切り拓ける世界をつくる

## ◇2022年9月の姿

カンボジアの子ども達と映画配達人が  
より楽しく豊かになる映画配達を行うことを、  
多くの人を知り応援してくれていて、  
これからの活動の世界への広がりが想像できる状態

- ・ 新規作品の獲得・既存作品の管理
- ・ 映画配達の新たなモデルケース
- ・ ファンを増やす



各チームに分かれ、2022年9月にパワーアップした状態で  
移動映画館を再開できるように活動

## 1. よりたくさんの方の 映画をお届けしよう

子どもたちに届ける  
作品を選び、そして  
その作品の上映権の  
獲得と管理

## 2. 映画配達の質を 高めよう

映画配達の新たな  
モデルケース開発

## 3. より多くの人に 知ってもらおう

ファンを増やす  
(=移動映画館事業の  
伴走者を増やすこと)

- (1) コロナ禍での私たちの思い
- (2) **パワーアッププロジェクトについて**
  - ① **よりたくさんの映画を届けよう**
  - ② **映画配達の高めよう**
  - ③ **より多くの人に知ってもらおう**
- (3) 決算・予算報告
- (4) 配達人との対話（カンボジアより）
- (5) ウクライナプロジェクト報告
- (6) 代表挨拶



# よりたくさん映画を届けよう

リーダー：薬師寺

教来石・菊地・内田・齋藤・亀井



## ◇活動内容

私たち『よりたくさんの映画を届けよう』チームは、子どもたちに届ける作品を選び、そしてその作品の上映権の獲得と管理を担っています。

(1) 子どもたちに届ける作品の選定



(2) 作品の上映権を獲得するための交渉



(3) 契約成立後の管理（データや契約更新など）

## ◇2021年度の活動

．．．これまで．．．

新規作品の選定や契約の締結など、全ての作業を特定のスタッフが担当していたため、属人的になっていた。



**上映活動再開に向けて2021年度に取り組んだこと**

- ①上映作品選定規程の作成
- ②新規作品の獲得

## ◇2021年度の活動

### ①上映作品選定規程の作成

移動映画館再開に向けて、今後より良い映画を子どもたちに届けるための選定規程を新たに「上映作品選定規程」として明文化しました。

- ＜項目例＞
- ・ 人権の尊重
  - ・ 宗教と社会
  - ・ 暴力表現
  - ・ 煙草の扱い etc...

(選定規程は、活動再開後に弊団体HPにて掲載予定です。)

## ◇2021年度の活動

### ②新規作品の獲得

- 作品選定、上映権獲得のための交渉を複数作品において進行中

（セリフのない短編作品）＋（大手制作会社が制作した作品）

- 翻訳ボランティアの方々による翻訳のご協力

海外のクリエイターや配給会社とのやり取りが増加

## ◇2021年度の活動

### ②新規作品の獲得

- ・ **作品選定、上映権獲得のための交渉を複数作品において進行中**

**(セリフのない短編作品) + (大手制作会社が制作した作品)**

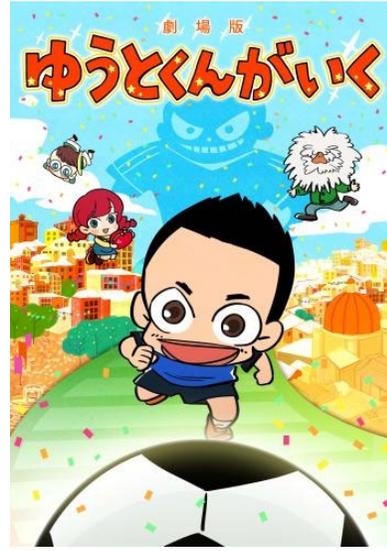
- ・ 翻訳ボランティアの方々による翻訳のご協力

海外のクリエイターや配給会社とのやり取りが増加

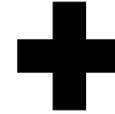
# よりたくさんのお映画をお届けしよう



© Takashi Yanase / TMS All Rights Reserved



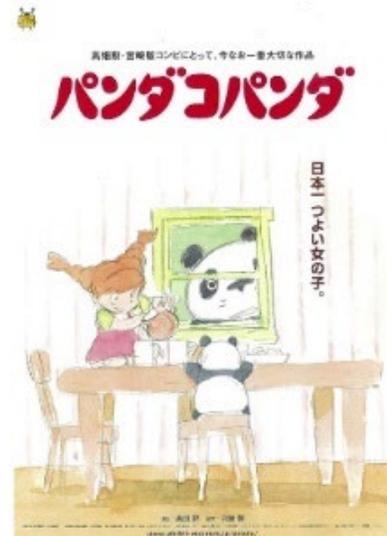
権利元：株式会社白組



New



権利元：株式会社学研ホールディングス



© TMS All Rights Reserved

## ◇2021年度の活動

### ②新規作品の獲得

- ・ 作品選定、上映権獲得のための交渉を複数作品において進行中

（セリフのない短編作品）＋（大手制作会社が制作した作品）

- ・ **翻訳ボランティアの方々による翻訳のご協力**

**海外のクリエイターや配給会社とのやり取りが増加  
アメリカ、シンガポール、スペイン、etc...**

## ◇今後の活動

### ①新規作品の獲得

国内作品・海外作品、そして短編・長編問わず、より多くの作品と出会うために、2022年度は映画祭への参加を考えています。

### ②上映権獲得済み作品の契約更新

2022年9月(予定)の活動再開に向けて、これまで上映の許可を頂いていた作品の契約更新に取り掛かります。

# 映画配達の質を高めよう

リーダー：山中

教来石・菊地・重光・内田・川名・金原・大西・亀井



上映環境やワークショップを含む移動映画館のプログラムづくりと映画配達人が現地で円滑に活動できるためのサポートを行っています。

**2021年度は、映画配達の新たなモデルケース開発に着手**  
(まずは9月に再開予定のカンボジアを想定)



- ① 子ども達が、**夢を描き人生を切り拓ける映画体験**を届けるため
- ② 映画体験が子ども達もたらす**効果の検証**をするため
- ③ これらを確実に進めていくため**現地配達人との連携強化**のため

## ◇モデルケース開発に向けての議論

### ①夢を描き人生を切り拓ける映画体験とは...

**夢とは、職業だけではない**

- ▶ 「夢＝職業」「夢＝将来」というイメージが強かった。  
でも、希望や憧れ、日常の中の幸せ、一歩先にある目標、  
自分以外の大切な人に向ける思いなども含んでいるはず。

**人生を切り拓くため映画から学べるのは、勉強や努力だけではない**

- ▶ さまざまな感情をともなって心が動く体験、  
知らない世界や、個性豊かな人生を知る体験、  
自分の中の大切な人や思いに気づく体験が  
自分自身の人生の選択を助けてくれる力になる。  
映画はそんな体験を与えてくれるもの。

## ◇モデルケース開発に向けての議論

### ②映画体験の効果検証...

**人生で一度きりの映画体験で、効果が期待できるのか？**

▶ 本当なら、色々なジャンル、色々な国の映画を届けるべき。

映画を見たあとの子ども達の変化は鑑賞直後だけでなく、  
短期的・中期的・長期的に見ていく必要がある。

**どんな効果を目指すのか？**

▶ 「自分の人生を切り拓くための一歩」を見つける一助になりたい。

けれどその「一歩」の中身は、年齢や経験によって異なるはず。

だからWSは場面や目的に合わせバリエーションを増やしたい。

## ◇モデルケース開発に向けての議論

### ③映画配達人との共通意識を持つことと連携の強化...

#### 映画は教育？・・・カンボジアと日本メンバーの意識のすり合わせ

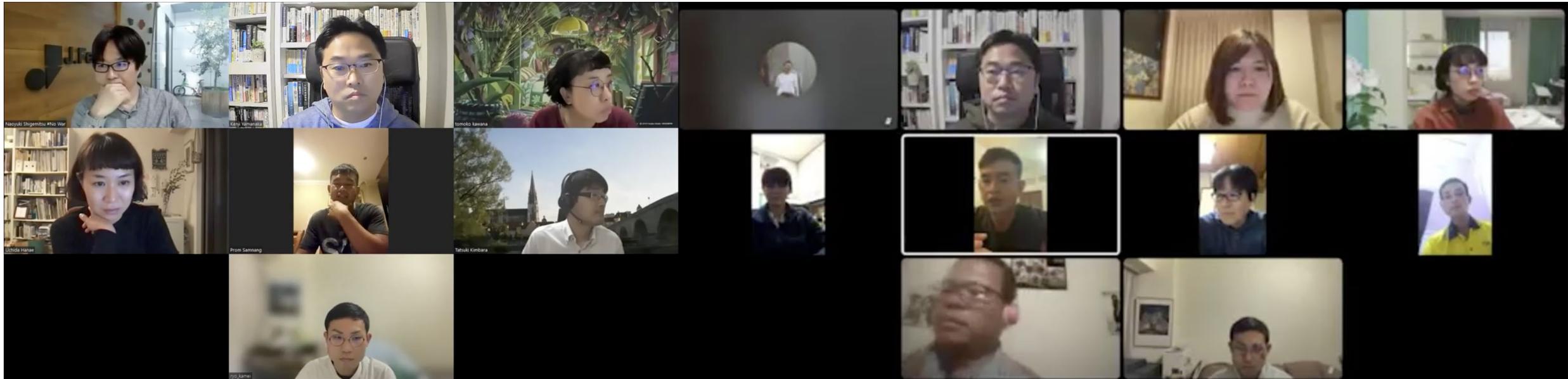
- ▶ 映画から努力の大切さを学んでほしい、  
なりたいものになるためには勉強を頑張ること（カンボジア）
- ▶ 勉強も努力も大切だけれど、感動や興奮を体験してほしい  
その中に自分で見つける希望や憧れが、  
自分の人生を切り拓いていく一歩につながるはず（日本）



カンボジアの映画配達人たちと対話を重ねてきました

# 映画配達の高めよう

- ⇒ ビジョンの共有から、配達人達の生き立ちや人生の話まで。
- ⇒ 移動映画館の環境づくりやワークショップのアイデアが互いに湧き上がり、意見交換を深めています。



## ◇新たな『映画配達』の方針

### ■ 映画配達人との連携の強化・継続

- 配達人は、子ども達と直接に触れ合う人
- 自ら人生を切り拓いてきた大人として、目の前にいるお手本
- 上映方法やWS内容については定期的に意見交換を継続

### ■ 同じ子どもに3回の映画体験を届ける

⇒映画との距離が近づく／映画の効果を定点観測できる

### ■ 3回の映画配達に伴いWSも目的を明確にした3段階で構成

⇒子ども達が自分の一歩を見つけるヒントを得られるプログラムに

## ◇取り組む内容

- ① 現地で移動映画館を実施する映画配達人とのコミュニケーション
- ② より良い映画配達プログラムの検討・作成・実施
- ③ 移動映画館が子ども達にもたらす効果の検証
- ④ 現地での活動が円滑に進むための手続きのサポート

# より多くの人に知ってもらおう

リーダー：川名

重光・星野・飯森・小林・山中・湯川・関口・教来石・菊地



## 【ミッション】 ファンを増やす(=移動映画館事業の伴走者を増やすこと)

- ・ 活動再開後の目標とする状態を決める
- ・ 現状の課題抽出→アクションプランを決める



活動休止前より **8 倍**、  
苦しく忙しい日々が待っていました……！

## 【要因①】 ファンドレイザーがない

課題の多くの原因は「戦略がない」ことでした。つまり、ファンドレイズがふんわりしていた為、どれも中途半端な状態になっていました。

## 【要因②】 メンバーが全員ボランティア

活動に費やせる時間が圧倒的に少なく、活動頻度も不安定の為、業務が究極に属人的で持続可能な運営体制とは言えない状態になっていました。

万年リソース不足の中、色々と手を広げ過ぎてしまったことにも気が付きました。

## 【対策①】 一人一人がファンドレイザー

ファンドレイザーを見つけることは容易くないので、まずはFRJ2022に参加したりすることで集中的に知識を吸収し共有し合いました。まだまだ試行錯誤ではありますが、メンバーの知識を底上げしながら一歩ずつ前進しています。

## 【対策②】 情報を集め、「やること」と「やらないこと」を決める

まずはメンバー間のヒアリングや様々な調査を行い、情報を一箇所に集めました。そして、限られたリソースで今注力することを決めました。

## 【私たちが注力すると決めたこと】

- 認定NPO取得を目指すこと
- 法人寄付と個人寄付の輪を広げること
- 活動報告の内容(成果の可視化)と頻度(会員様との接点)を向上すること
- そして、運用を最適化すること

まだ道半ばではありますが、

具体的なアクションを **4つ** ご紹介します！

## ① 法人寄付チームを発足

今年度は能動的に法人寄付に対して動けるよう、チームを発足しました。  
寄付型自動販売機や企業様との連携など、0からのベース作りに励んでいます！

## ② 8月よりメルマガをスタート

WTPのファンであり続けていただけられるよう、活動報告の「質と頻度」をあげます！  
毎月1日にお届けする予定です。ぜひ読んでいただけると嬉しいです！

## ③ 10周年イベントを企画中

活動再開のご報告と感謝を申し上げたく、9月上旬の週末にイベントを開催したいと思っております。詳細は8月のメルマガ等にてご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

## ④ 公式HPリニューアルを目指す

より多くの人に知っていただくために、活動内容や成果、活動している人たちの顔が見えるよう改修をしたいと思っています。

## 最後に

私たちは休止前よりも確実に  
パワーアップしています。  
そして、今年10周年を迎えます！  
より一層のご支援をお願い申し上げます！



- (1) コロナ禍での私たちの思い
- (2) パワーアッププロジェクトについて
  - ①よりたくさんのお映画を届けよう
  - ②映画配達の高さを高めよう
  - ③より多くの人に知ってもらおう
- (3) 決算・予算報告**
- (4) 配達人との対話（カンボジアより）
- (5) ウクライナプロジェクト報告
- (6) 代表挨拶



# 決算・予算報告

報告：重光



# 2021年度の決算報告

項目	内訳	金額(万円)	摘要
収益		212	
	寄付金	(185)	継続会員、スポット寄付
	その他	(27)	グッズ販売、非劇場上映
支出		246	
	事業費	(205)	映画配達人への支払い、等
	管理費	(41)	システム使用料、倉庫代、等
収支		▲34	
期首残高		530	2021年3月末の残高
期末残高		496	2022年3月末の残高

# 2022年度の予算報告

項目	内訳	金額(万円)	摘要
収益		182	
	寄付金	(182)	寄付金のみでグッズ等は見込まない
支出	事業費	317	
	・カンボジア	(262)	映画配達人への支払い、新規映画獲得、吹替版作成、ワークショップ改善・実施、等
	・その他	(55)	ウクライナ、子ども食堂での上映支援等
	管理費	195	
	・HP改訂	(120)	寄付者とのコミュニケーションの改善のため
	・システム使用料	(75)	システム使用料、倉庫代、等
収支		▲330	
期首残高		496	2022年3月末の残高(実績)
期末残高		166	2023年3月末の残高(予測)

- (1) コロナ禍での私たちの想い
- (2) パワーアッププロジェクトについて
  - ①よりたくさんのお映画を届けよう
  - ②映画配達の高めよう
  - ③より多くの人に知ってもらおう
- (3) 決算・予算報告
- (4) 配達人との対話（カンボジアより）
- (5) ウクライナプロジェクト報告
- (6) 代表挨拶



# 映画配達人との対話





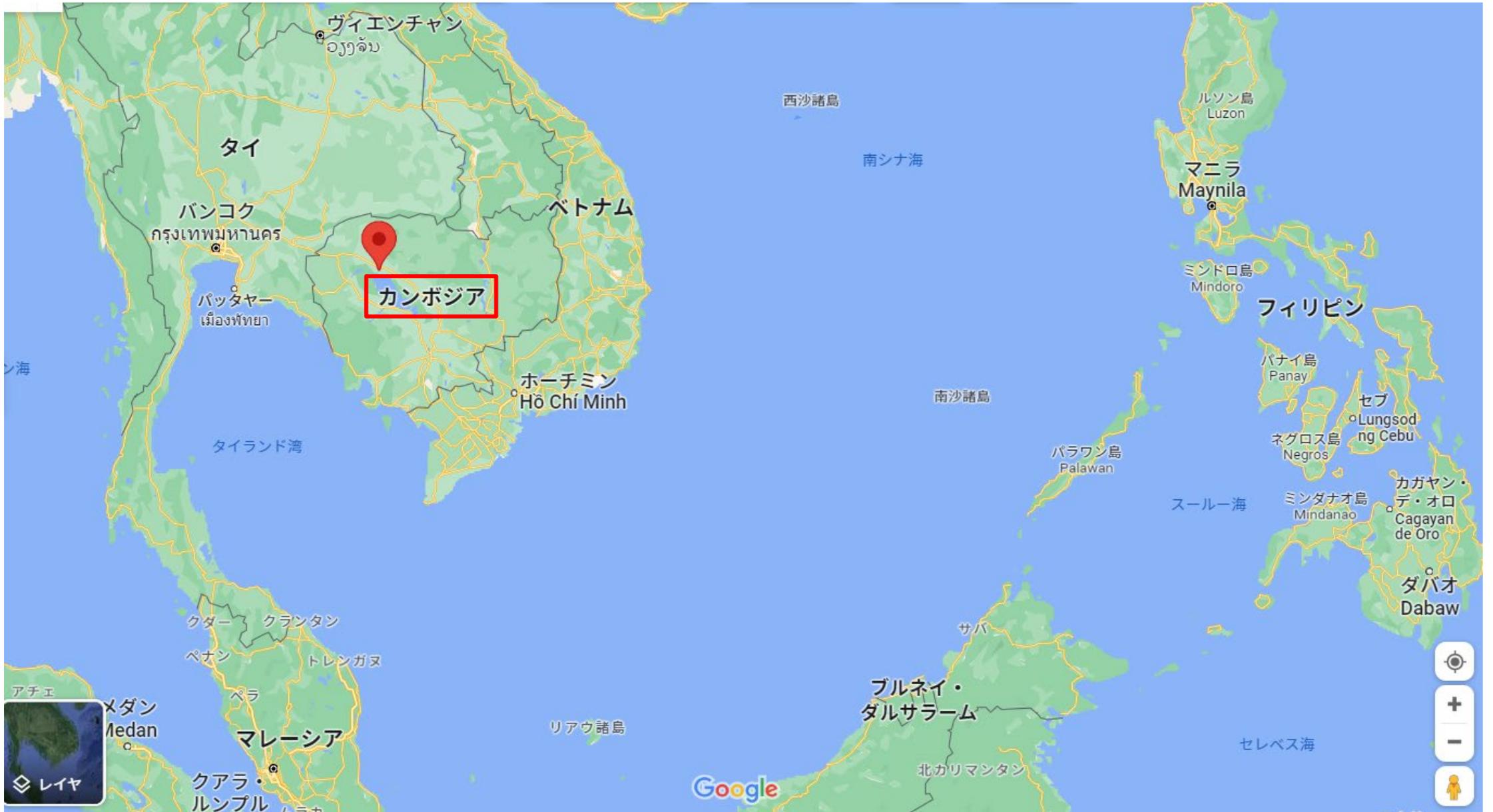
サムナン



ナット



サロン



- (1) コロナ禍での私たちの思い
- (2) パワーアッププロジェクトについて
  - ①よりたくさん映画を届けよう
  - ②映画配達の高めよう
  - ③より多くの人に知ってもらおう
- (3) 決算・予算報告
- (4) 配達人との対話（カンボジアより）
- (5) **ウクライナプロジェクト報告**
- (6) 代表挨拶



# ウクライナの子ども達にできること

リーダー：内田

教来石・菊地・重光・薬師寺・亀井



ウクライナから避難を強いられ  
国境越えした人々は

**800万人以上**

(UNHCR 6月21日現在)

ポーランド国境を越えた人の人数

**400万人以上**

(ポーランド国境警備隊 6月21日現在)



UNHCRレポート(6/8)より  
\*情報は2022年5月現在のもの

World Theater Projectにできることはなんだろう？



ポーランドで動き出した2つの活動と出会う

## Border Crossing Children's Film Festival

### 国境を越え避難する子ども達のための映画祭



Border Crossing - Children's Film Festivalさんがプロフィール写真を変更しました。

3月2日 · 🌐

A moment of wonder for children, a moment for parents to breathe.

[翻訳を見る](#)



**BORDER  
CROSSING**  
Children's Film Festival



Border Crossing - Children's Film FestivalさんはMedykaにいます。

3月12日 · 🌐

We sincerely thank everyone who is supporting us as we, in turn, try to support families and children on their journey to safety and resettlement. We hope that for some of the children these screenings might become the brightest of memories through an otherwise difficult time. Together [#westandwithukraine](#)

And now, on our way to Medyka, to start the next cycle of screenings...

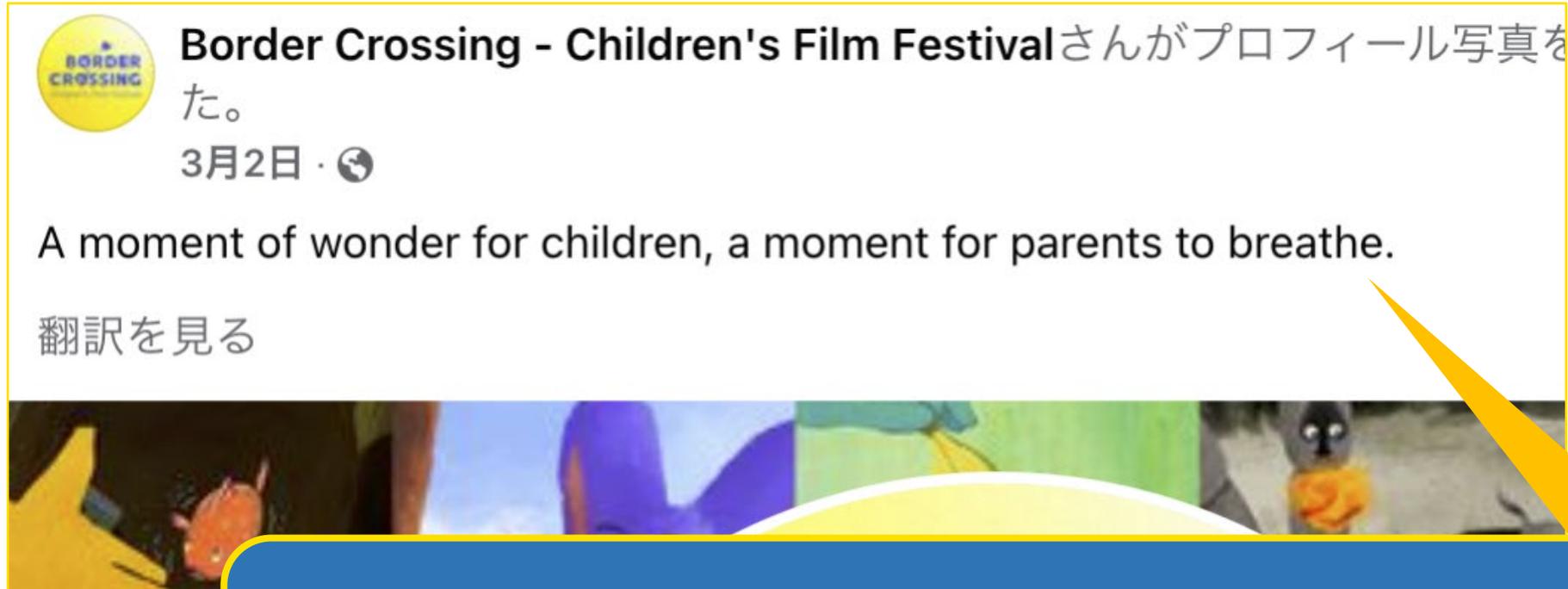
A special thanks to our partners and contributors.

[翻訳を見る](#)



## Border Crossing Children's Film Festival

### ボーダークロッシング 子ども映画祭



▲ facebookへの最初の投稿 (3/2)

「冒険の時間を子ども達に、息をつける時間を親たちに。」

# ウクライナの子ども達にできること

## 小学校の教職員が中心となって開催したこどもの日イベント



開催：6月1日（現地：こどもの日）

主催：Fort1

上映会担当：藤田泉さん（SLOW ART）と現地日本人の方達

場所：トルン26番小学校

DigiCon6 ASIA様よりご協力をいただいた  
45分のプログラムが上映されました。

The graphic features a world map with three callout boxes: 'KOREA' (orange), 'JAPAN' (yellow), and 'Hong Kong' (red). To the right, the program is divided into three parts:

- PART 1 (14min)**
  - 1. A yellow character wearing a black and white striped hat.
  - 2. A colorful scene with a green dragon-like creature.
  - 3. A brown dog character with a red collar and a white tag.
- PART 2 (14min)**
  - 4. A character in a red and white outfit looking out from a green door.
  - 5. A character in a blue and white outfit holding a green apple.
- PART 3 (15min)**
  - 6. A character in a black and white outfit.
  - 7. A blue, egg-shaped character.
  - 8. A red, hand-like character.

presented by **World Theater Project** in association with DigiCon 6 ASIA

# ウクライナの子ども達にできること



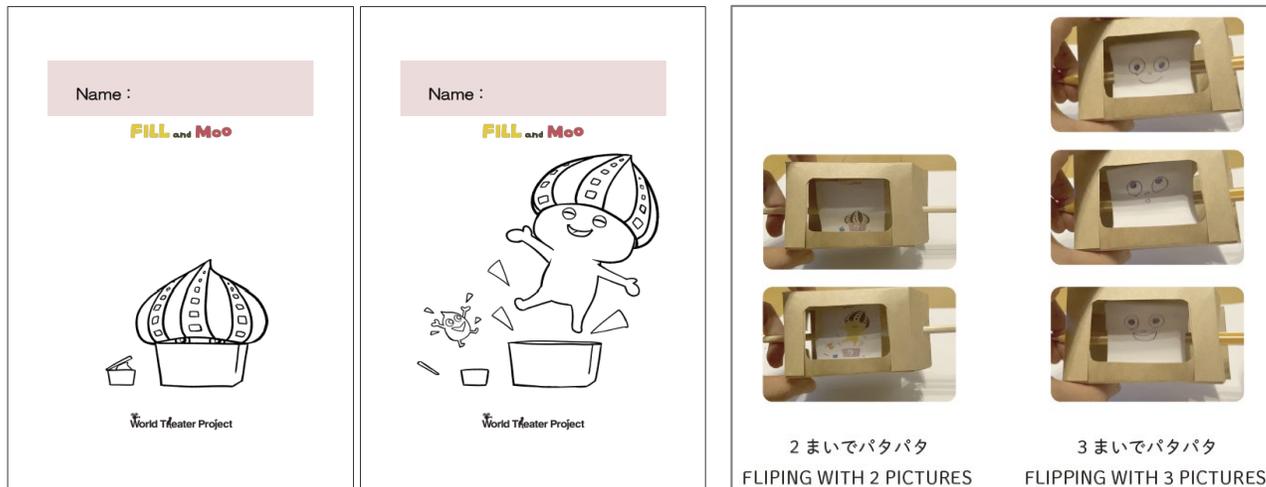
写真：藤田泉さん（SLOW ART）

# ウクライナの子ども達にできること



上映会場で「遊んだり・作ったり」を  
楽しめるツールもご用意しました

◀ 塗り絵・迷路・間違い探しなど  
12ページのセットになっています。



◀ 静止画が動いて見える仕組みを  
自分で作って学べるキットです。



「上映会場では、コペルニクス大学の日本語学科に通うウクライナの3年生が司会をしてくれ、場を盛り上げてくれました。映画と映画の間にいつも遊びを入れてくれて、会場の子供たちは場を離れることなく、集中して映像に見入っていました。」  
(藤田泉さんからのご報告)

- (1) コロナ禍での私たちの思い
- (2) パワーアッププロジェクトについて
  - ①よりたくさんのお映画を届けよう
  - ②映画配達の高めよう
  - ③より多くの人に知ってもらおう
- (3) 決算・予算報告
- (4) 配達人との対話（カンボジアより）
- (5) ウクライナプロジェクト報告
- (6) 代表挨拶**

